

授業科目 NO. 701 公衆衛生看護学概論Ⅱ (活動の基盤)

Introduction to Public Health Nursing II
(Foundation for Activities)

授業の形態：講義

単位数（時間数）：1単位（15時間）

開講年次・学期：2年次・後期

必修・選択の別：選択

キーワード：公衆衛生看護学の概念・基本理念、公衆衛生看護活動の場と特性、公衆衛生看護の歴史、公衆衛生看護活動の基本

1 金沢医科大学看護学部への到達目標（全科目共通です）

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標（GIO）

公衆衛生看護活動の基盤となる能力を獲得することを目的に、公衆衛生看護の理念や概念、公衆衛生看護活動の行われる場と特性の理解、社会環境の変化と人々の健康が関連していることへの理解、健康課題の解決に対する公衆衛生看護活動の基本的な考え方を理解することを目標とする。

2) 行動目標（SBO）※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部への到達目標との関連を示す。

- (1) 公衆衛生看護の理念や概念を説明できる。(②③)
- (2) 公衆衛生看護活動の行われる場と特性を説明できる。(②③)
- (3) 社会環境の変化と人々の健康が関連していることを述べることができる。(③)
- (4) 健康課題の解決に対する公衆衛生看護活動の基本的な考え方を述べることができる。
(①②③)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	80%
実習成績	%
レポート	%
授業態度	%
小テスト	20%
その他	%
合計	100%

(特記事項)

5 教育担当者

科目責任者：奥野 敬生

教 授 奥野 敬生（公衆衛生看護学）
助 教 橋本 憲祐（公衆衛生看護学）

6 教育担当者の実務経験

担当教員は公衆衛生看護活動の実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 荒賀直子・後閑容子（編集）：公衆衛生看護学.jp 第6版、インターメディカル（最新版）
- 2) 厚生労働統計協会（編集）：国民衛生の動向、厚生労働統計協会（最新版）

8 推薦参考書

- 1) 標美奈子他：標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論、医学書院（最新版）

9 準備学習に必要な時間及び具体的な学修内容

- 1) 授業1コマにつき、事前学習・事後学習として計180分程度必要です。
- 2) シラバスに表示してある各回の講義内容について、事前に教科書の該当ページを読み、理解できない内容をノートに記載しておくこと。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

- 1) 小テストについては講義中に解説する。
- 2) 最終授業で全体に対するフィードバックを行う。
- 3) 毎回の講義終了後アンケート（講義の質問・意見など記載）に記載された内容や質問について、次回の講義で取り上げ解説を行う。
- 4) 試験結果については、採点後に開示する。

11 オフィスアワー等

質問等は奥野に e-mail (okunotk@kanazawa-med.ac.jp) で事前に約束してから研究室にお越しください。

第2学年

公衆衛生看護学概論Ⅱ

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
後	1	12月03日(水)	3	講義	公衆衛生看護学の概念, 公衆衛生看護の目的と理念		公衆衛生看護学	奥野教授
後	2	12月10日(水)	3	講義	公衆衛生看護学の歴史, 公衆衛生看護学に関わる法規		公衆衛生看護学	奥野教授
後	3	12月17日(水)	3	講義	公衆衛生看護学の基本概念, 公衆衛生看護の対象の捉え方		公衆衛生看護学	奥野教授
後	4	1月07日(水)	3	講義	社会環境の変化と健康課題		公衆衛生看護学	奥野教授
後	5	1月28日(水)	3	講義	経済効果と保健活動 行動変容を促す方法	小テスト	公衆衛生看護学	奥野教授
後	6	1月30日(金)	1	講義	公衆衛生看護活動の場(行政)		公衆衛生看護学	橋本助教
後	7	1月30日(金)	2	講義	公衆衛生看護活動の場(国際保健)		公衆衛生看護学	桜井特別講師,奥野教授
後	8(0.5)	2月04日(水)	3	講義	まとめ		公衆衛生看護学	奥野教授